



良質な歌声と、
良質な楽曲と、
プラネタリウムが共演する
極上のプログラム!!

つじあやの

★プラネタリウムコンサート★

2022年12月17日(土)

1st ステージ 17:00～18:00

2nd ステージ 19:00～20:00

※開催時刻の30分前に開場します。
※イベント開始後の途中入場はできません。

指定席

一般シート 5,800円(税込)

一般シートB 4,500円(税込)

〈対象〉
小学生
以上

※各種割引、年間パスポートは利用できません。
※年齢による種別はありません。
※イベントの特性上、未就学児の入場はできません。
※一般シートBはプラネタリウム機器の真後ろのエリアのため
ステージ(アーティスト)が見えづらい場合があります。

チケット
一般販売

2022年10月16日(日) 10:00～ 先着

※WEB販売のみで、福岡市科学館での販売はありません。
※チケットは各公演、一度におひとり様4枚までご購入いただけます。
※予定枚数に達し次第販売を終了します。



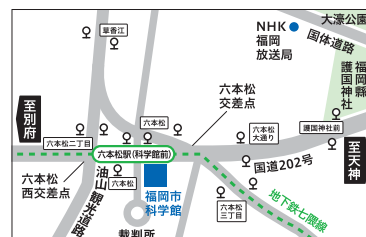
福岡市科学館6階 ドームシアター(プラネタリウム)

主催:福岡市科学館 企画:コニカミノルタプラネタリウム株式会社 演出:(株)TVQ九州放送

住所 福岡市中央区六本松4-2-1 TEL092-731-2525

【交通案内】○福岡市地下鉄七隈線「六本松駅(科学館前)」すぐ ○西鉄バス「六本松」停留所すぐ ※専用駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

STARRY NIGHT JAMのロゴマークは、コニカミノルタプラネタリウム株式会社の登録商標です。



<プロフィール>

つじあやの

京都市生まれ。高校時代からミニライブや作詞作曲活動を開始。1999年、『君への気持ち』でスピードスターレコーズよりメジャーデビュー。

2002年に公開されたスタジオジブリ映画『猫の恩返し』の主題歌『風になる』のヒットでも知られ、近年はCMソング、映画音楽、ドラマ音楽など幅広いジャンルに楽曲を提供するなどシンガーソングライターの枠にとどまらないマルチクリエイターぶりを発揮。

2017年に一児の母となり、翌年にはKTS鹿児島テレビの新生児を応援するプロジェクトへオリジナルテーマソングを提供するなど、こどもを見つめる視点からの創作へもその作品の幅を広げている。

2022年はおおよそ11年ぶりとなるオリジナルアルバム『HELLO WOMAN』を自身の誕生日である1月6日にリリース。



初回盤・CD & LIVE DVD
VIZL-1902 ¥4,500+消費税

通常盤・CD
VICL-65506 ¥3,000+消費税

<CD 収録内容>

01. アンティーク
02. 明日きっと
03. 泣き虫レディバード
04. シンデレラ
05. お別れの時間
06. Killer Queen
07. 朝が来るまで
08. ただの人
09. にじ
10. おやすみなさい

<DVD 収録内容>

- 2020.9.21 “ピクタースタジオから歌をこめて”
Live at VICTOR STUDIO 302st
01. クローバー
 02. 風になる
 03. 泣き虫レディバード
 04. バレード
 05. 愛する人へ
 06. Sweet Happy Birthday

<アルバム情報>

つじあやの Full Album 「HELLO WOMAN」 2022.1.6(木)Release!

1999年9月22日にスピードスターレコーズよりミニアルバム「君への気持ち」でメジャーデビューし、2020年にデビュー20周年を迎えたつじあやの。2010年にリリースされた『虹色の花咲きほころぶとき』以来約11年ぶりとなるオリジナルアルバム。

デビュー20周年を機に、シンガーソングライターとしてのキャリアを重ねながら、私生活においても恋愛・結婚・出産・子育ても経験してきたこれまでを振り返り、1人の女性として自分自身と改めて出会い向き合う中で制作された本作。

彼女の代表曲でもある「風になる」でもアレンジを担当し今作では現在放送中のNHK Eテレアニメ「舞妓さんちのまかないさん」のオープニングテーマに起用されている「明日きっと」等を担当した根岸孝旨や、近年彼女のCMタイアップ曲を中心としたアレンジを多く手がけている曽我淳一をはじめ、今作が初コラボとなるコトリンゴ、ミト(クラムボン)、Yamato Kasai(Mili)がアレンジャーとして参加。

時に疲れ、色褪せ、心迷わせながらも“歌い続け”た様々な女性たちの姿をそれぞれ描いたという今作は、これまでとおりの“つじあやの”らしさがトレースされた楽曲から、心の奥底にあるリアルな感情を表現した新しい歌詞の世界観へとチャレンジした楽曲まで全10曲が収録される。キーワードとなるのは、“20年、恋愛、結婚、出産、子育て”。

「完璧な“WOMAN”なんてどこにもいなかった。けど、その時々には愛しい“私”がいた。完璧じゃなくても、愛しい日々。喜びも悲しみも半分半分がちょうどいい。」今を生きるすべての女性、そして男性に捧げる全10曲を収録。シンガーソングライターとしてのキャリアを重ねながら、私生活においても結婚・出産も経験し40代となった今、音楽的にも一人の女性としても、自然体での“経年”を感じられる作品となっている。

また、ジャケット写真には本作全体を象徴するひとつのアイコンとして、画家、有元利夫の絵画作品「占いのテーブル」が全面に使用されている。